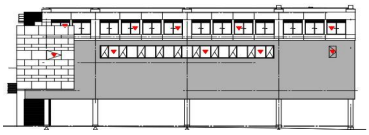
CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要

建物名称	関西メディカル病院　増築工事	階数	地上4F
建設地	豊中市新千里西町	構造	S造
用途地域	防火地域/ 商業地域	平均居住人員	76　人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760　時間/ 年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年11月　予定	評価の実施日	2024年10月23日
敷地面積	1,964 ㎡	作成者	一級建築士事務所　浅井謙建築研究所株式会社井上淳
建築面積	1,210 ㎡	確認日	2024年10月23日
延床面積	3,930 ㎡	確認者	一級建築士事務所　浅井謙建築研究所株式会社井上淳

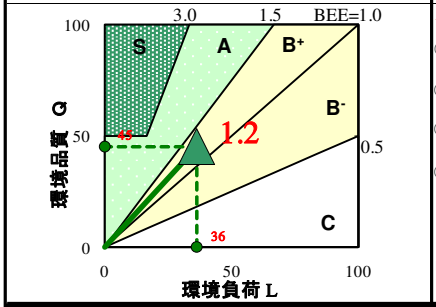
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.2

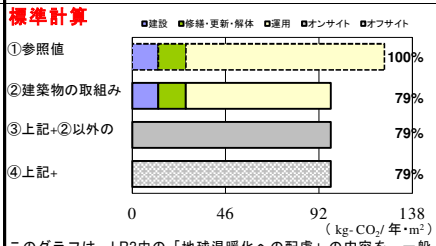
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

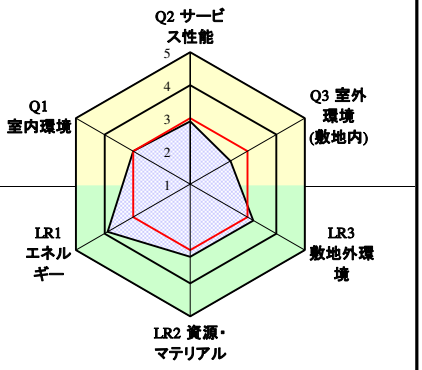
30% ☆☆☆☆☆　60% ☆☆☆☆　80% ☆☆☆　100% ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

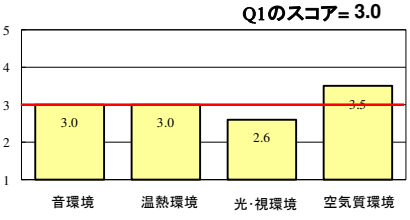
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



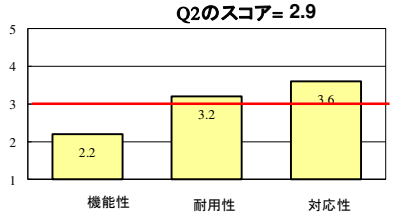
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Qのスコア = 2.8

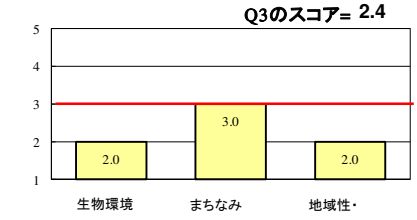
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.0



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.9

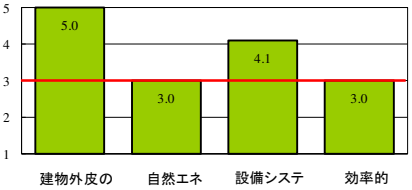


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.4

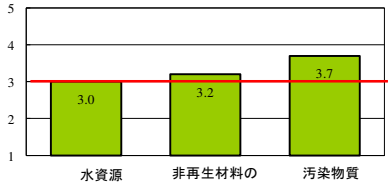


LR 環境負荷低減性　　LRのスコア = 3.5

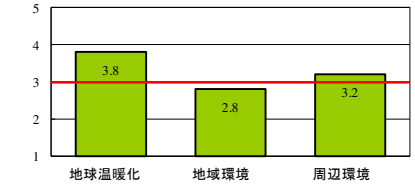
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.9



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合

内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用
外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用

その他

特に無し

Q1 室内環境

内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用

Q2 サービス性能

外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用

Q3 室外環境（敷地内）

特に無し

LR1 エネルギー

BPI=0.65
BEI=0.73

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R)

LR3 敷地外環境

LCCO2排出率＝79 %

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム　2024年版

受付番号 R6-変-0056

大阪府の重点評価（結果）

Osakafu-新築・既存 2024V1.3

【建物概要】		
建物名称		関西メディカル病院　増築工事
建設地		大阪府豊中市新千里西町
用途／区分		病院

【評価結果】			
	CASBEE 総合評価		B＋
①	CO2削減		4
②	みどり・ヒート アイランド対策		3
③	断熱性能		5
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル：住宅(住棟)又は複合建築物の住宅部分	評価対象外	評価対象外
④	エネルギー消費性能		4
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル：住宅(住棟)又は複合建築物の住宅部分	評価対象外	評価対象外
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル：非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分		4
⑤	自然エネルギー直接利用		—

再生可能エネルギー利用施設の導入状況								
太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告	報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境　1. 地球温暖化への配慮	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内)　1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内)　3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環　2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー　1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー　3. 設備システムの効率化	4.1	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー　2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		